

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2017-18397

(P2017-18397A)

(43) 公開日 平成29年1月26日(2017.1.26)

|                                |               |             |
|--------------------------------|---------------|-------------|
| (51) Int.Cl.                   | F 1           | テーマコード (参考) |
| <b>A 4 7 C 19/22 (2006.01)</b> | A 4 7 C 19/22 | 3 B 0 6 0   |
| <b>A 4 7 B 83/04 (2006.01)</b> | A 4 7 B 83/04 |             |

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

|           |                              |          |                                                       |
|-----------|------------------------------|----------|-------------------------------------------------------|
| (21) 出願番号 | 特願2015-139464 (P2015-139464) | (71) 出願人 | 303002480                                             |
| (22) 出願日  | 平成27年7月13日 (2015.7.13)       |          | ▲高▼良 守                                                |
|           |                              |          | 沖縄県豊見城市字嘉数603番地の8                                     |
|           |                              | (72) 発明者 | 高良守                                                   |
|           |                              |          | 沖縄県豊見城市字嘉数603番地の8                                     |
|           |                              | Fターム(参考) | 3B060 AB01 AB08 BA01 BB03 BB05<br>BC03 BD01 BE00 BF01 |

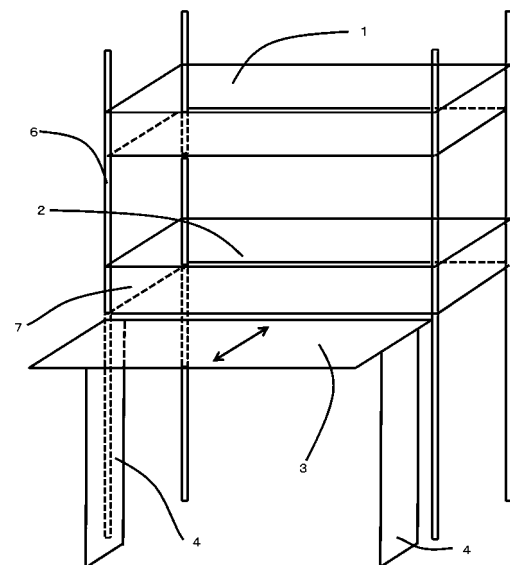
(54) 【発明の名称】 収納机付きベッド

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 奥と手前へスライド可能な机の天板を下段ベッド床板下部に収納することで、机を必要としないときには、室内のスペースを最大限に活用することができることを特徴とするベッドと机との組み合わせ家具を提供する。

【解決手段】 奥と手前へスライド可能な机の天板3を床板下部に設け、複数人が利用可能なベッドと机とを提供し、かつ机を使用しないときは机の天板3をベッド床板下部へ収納することで、複数の就寝ベッドと机を確保する。

【選択図】 図1



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項1】

ベッド床板下部に収納可能なスライド式の机の天板を設けることを特徴とするベッド。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は、特に二段ベッドにおいて、二人分のベッドと、ベッドに収納できる勉強机とを提供することで、小さな部屋でも室内のスペースを最大限に活用できるようにしたベッドと机の組み合わせ家具に関するものである。

## 【背景技術】

10

## 【0002】

従来から、ベッド下スペースは、衣類の為の収納スペースとして利用されている。

## 【0003】

従来から、ベッドと机の組み合わせのロフトベッドは、ベッド下スペースに机の天板が固定されているものが主流であった。

## 【0004】

従来から、ベッドと机の組み合わせのロフトベッドの下スペースは、机やサイドボード、ワゴンなど、配置自由な組み合わせによるものが主流であった。

## 【0005】

このようにベッドと机の組み合わせ家具は、一人用が主流であった。

20

## 【0006】

その結果、特に二段ベッドと机の組み合わせ家具はなく、それぞれにベッドと机の組み合わせ家具が必要となるため、大きなスペースが必要となっていた。

## 【先行技術文献】

## 【特許文献】

## 【0007】

【特許文献1】特開2004-24425号公報

【特許文献2】特開2005-185687号公報

【特許文献3】特開2006-55539号公報

【特許文献4】特開2008-67820号公報

30

【特許文献5】特開2009-297381号公報

## 【発明の概要】

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【0008】

そこで、本発明は、奥と手前へスライド可能な机の天板を下段ベッド床板下部に収納することで、机を必要としないときには、室内のスペースを最大限に活用することができることを特徴とするベッドと机との組み合わせ家具を提供する点にある。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0009】

ベッド床板下部に収納可能なスライド式の机の天板を設けることを特徴とするベッド。

40

## 【発明の効果】

## 【0010】

本発明によれば、机を使用しない場合には、机の天板を奥へスライドさせてベッド床板下部に収納させることで、室内のスペースを大きくすることができる。

## 【0011】

本発明によれば、机として使用する場合、ベッド床板下部に収納されたスライド式の天板を手前へ引き、机の天板があらわれることで、一人用はもちろんのこと、二人用もしくは三人用の複数人で机として利用することが可能となる。

## 【図面の簡単な説明】

## 【0012】

50

【図 1】図 1 は、本発明の二段ベッドにおける斜視図である。

【図 2】図 2 は、大きな収納スペースが一つある正面図である。

【図 3】図 3 は、収納スペースが複数個に区分けされた正面図である。

【発明を実施するための形態】

【0013】

ベッド床板下部にスライド可能な机の天板を設ける。以下、実施例を挙げて本発明を更に詳述するも、本発明がこれらの説明や手順に限定されるものではない。

【実施例】

【0014】

机の天板が奥と手前にスライドして、二段ベッド下段の床板下部に机の天板を収納できるように取り付けてもよい。

10

【0015】

机の天板より下スペース部分を収納スペースとして利用し、収納ボックスやサイドボード、ワゴン等を配置してもよい。

【0016】

机の天板を安定させるため机の天板に脚（符号 4）を取り付けてもよい。

【0017】

床に接する部分の天板の脚（符号 4）に車輪を取り付けてもよい。

【0018】

下段ベッド下スペースにもう一つベッドを設けて、三人が就寝できるようにしてもよい。

20

【0019】

机の天板を安定させるため天板下にサイドボードなどを用いて天板を支えてもよい。

【0020】

机の天板を取り付けるためベッド床板下部にスライドさせるための金具を取り付けてもよい。

【0021】

机の天板下に教科書やノート、筆記用具等の収納のための引き出しを設けてもよい。

【0022】

机の天板下の教科書やノート、筆記用具等の収納のための引き出しは、天板の大きさほどの大きな引き出しでもよい（図 2）。

30

【0023】

机の天板下の教科書やノート、筆記用具等の収納のための引き出しは、複数個に分けられてもよい（図 3）。

【0024】

机の天板下に教科書やノート、筆記用具等の収納のために学校机のような収納スペースを設けてもよい。

【0025】

机の天板下の学校机のような収納スペースは、天板の大きさほどの収納スペースでもよい（図 2）。

【0026】

机の天板下の学校机のような収納スペースは複数に区切られてもよい（図 3）。

40

【0027】

ベッド床板下部に取り付けられた奥と手前にスライド可能な机の天板は、ベッド反対側からも引き出せるように取り付けてもよい。

【0028】

机の天板部分がベッド支持脚（符号 6）、もしくは側枠部材（符号 7）に蝶番等で接合され、上方向、もしくは下方向に折り曲げることで、天板部分が収納できるようにしてもよい。

【0029】

机そのものが、ベッド下段下スペースに収まるような、机とベッドがセパレートタイプの

50

組み合わせでもよい。

【0030】

床板下に収納される机の天板は、一枚板でなく、机として機能する大きさの板数枚からなり、それぞれの天板がスライドして床板下部に収納できるようにしてもよい。

【0031】

机として機能する大きさの板数枚からなる天板に脚を設けて天板を固定してもよい。

【産業上の利用可能性】

【0032】

本発明によれば、簡易な構造で小さな部屋でも複数の就寝ベッドと机を確保することが可能となり、スペースを最大限に生かすことができる。

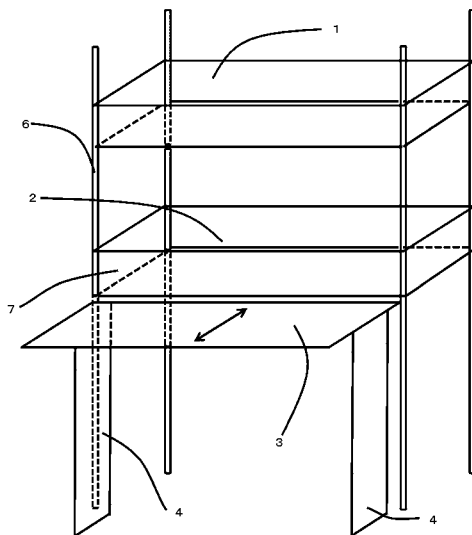
10

【符号の説明】

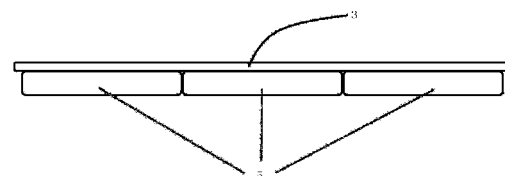
【0033】

- 1・・・上段ベッド
- 2・・・下段ベッド
- 3・・・机の天板
- 4・・・机の脚
- 5・・・引き出し又は筆記用具等の収納スペース
- 6・・・支持脚
- 7・・・側枠部材

【図1】



【図3】



【図2】

